

1 アンケート結果等

アンケート対象		対象者数	回答者数	回答率
発表団体	会場参加	21	20	95.2%
	オンライン参加	2	0	0%
一般	会場参加	7	2	28.6%
合計		30	22	73.3%

※市民活動推進委員会、事務局、UMECO職員のうち報告会従事者は除く。

※一般（7人）の内訳：R7補助金事業団体 1人、その他6人

①

※網掛けは、「2方針（案）」に関連する部分で、対応する符号（①など）を記載。

Q1 今回の報告会をどこでお知りになりましたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
広報小田原				
市ホームページ	1		1	4.5%
市ツイッター				
UMECOホームページ	1		1	4.5%
チラシ・ポスター	1	1	2	9.1%
市の案内	9		9	40.9%
その他	7	1	8	36.4%
無回答	1		1	4.5%
合計	20	2	22	100.0%

※その他の内容：団体の仲間、UMECOより

Q2 会場参加とオンライン参加の選択制について、どのように思われましたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
良かった	14	2	16	72.7%
悪かった	2		2	9.1%
その他	1		1	4.5%
無回答	3		3	13.6%
合計	20	2	22	100.0%

②

※良かった理由

- ・参加しやすい。色々な参加方法があるのは良いと思う。
- ・時代に即していると思う。
- ・より多くの方が、報告を聞けるので、多少のトラブルは仕方ないと思う。
- ・音声が不安定で聞き取りにくく残念だったが、オンラインは良いと思う。
- ・どのように報告するのか参考になった。
- ・他団体の活動を知ることができ、今後の参考となった。
- ・オンライン参加によって多くの人々に関心を持って見ていただけたことが補助金制度を広めることにつながると思う。

※悪かった理由

- ・Zoom発表の手違いがあった。これからはないように。
- ・画角調整等時間がかかった様子。

③

※その他の内容

- ・音声通信がうまくできず、残念だった。

④

Q 3 会場の音響や映像はいかがでしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
問題なかった	9	1	10	45.5%
音声が聞こえにくかった	4	1	5	22.7%
映像が止まることがあった				
その他	2		2	9.1%
無回答	5		5	22.7%
合計	20	2	22	100.0%

※問題なかったに記述

- ・とても良かった。背景もとても美しい。

※音声が聞こえにくかったに記述

- ・Z o o mで発表した団体の音声が聞こえにくかった。
- ・響きすぎて、音がこもっていた。

※その他に記述

- ・Z o o m発表者と質問者のやりとりがうまくいっていなかった。
- ・会員の一人がZ o o m参加予定だが、結果はまだ聞けていない。

←Z o o mで発表した団体以降の音声が聞こえなくなりました。（後日回答）

Q 4 発表時間（8分まで）の長さは適切でしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
長い	1	1	2	9.1%
適切	19	1	20	90.9%
短い				
合計	20	2	22	100.0%

※長い場合の適切な時間：5分

Q 5 質疑応答時間（7分程度）の長さは適切でしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
長い	1	1	2	9.1%
適切	19	1	20	90.9%
短い				
合計	20	2	22	100.0%

※長い場合の適切な時間：3～5分

Q 6 発表では「他主体との協働」「今後の活動資金の確保」「若者の参加促進」から選んで言及いただくようお願いしていましたが、いかがでしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
他団体の参考になると思う	19	2	21	95.5%
他団体の参考にならないと思う				
他に提起してほしい内容がある				
その他	1		1	4.5%
無回答				
合計	20	2	22	100.0%

※その他の内容

- ・このスライドは映し出されていたか。内容についてお礼をいいそびれた。

Q 7 その他、ご意見等を自由に記入してください。

- ・他の団体の発表からヒントを得て自身の団体活動に活かそう。
- ・Zoomの質問はチャット機能を利用した方がスムーズかと思う。
- ・イメージを掴むことができてよかった。
- ・3年間連続で30万円を活用させていただいた。資金力が活動の全て。今後ともあらゆる補助金活用に努力をしてまいりたい。

Q 8 あなたについて教えてください。

選択肢	発表団体	一般	合計	
市内在住	16	2	18	81.8%
市外在住	4		4	18.2%
合計	20	2	22	100.0%

○交流シート

- ・連携希望について2件の回答があった。

- ・連携希望2件の現時点での状況

具体的な時期は未定だが今後協力
不成立

⑤

… 1 件

… 1 件

2 次回の方針（案）

※詳細な開催案は、今後、事務局から提示する予定。

アンケート等考察	次回の方針（案）
①一般市民の参加が少ない状況である。	①当日参加の方が5名いた。気軽に立ち寄ってもらえるよう、当日はUMECOにて当日用の案内を掲示する。また、今年新たに実施したデジタルサイネージの活用や近隣市町村へのチラシ配布等は次回も継続して行う。
②Q2において、7割以上が参加方法を会場とオンラインから選択できたことを「良かった」としている。一方で、「悪かった」としている意見並びにQ3において、「音声が聞こえにくかった」とする意見があった。	②会場参加とオンライン参加の選択制を継続する。 ③「悪かった」とする意見や「音声が聞こえにくかった」とする意見は、今回のイレギュラーな事象に対する意見が中心であった。報告者は原則として会場参加のため、これまで以上に案内を徹底するとともに、今後は様々な問題が発生した際に、対応できるよう準備をする。
③Q4・5において、発表時間と質疑応答時間について、9割以上が「適切」としている。	④発表（8分まで）、質疑応答（7分程度）のいずれもそのまま継続する。
④Q6において、「他主体との協働」「今後の活動資金の確保」「若者の参加促進」への言及について、約9割が「他団体の参考になると思う」としている。一方で、この資料について提出はしたが、報告時に触れていない団体がいくつかあった。	⑤各団体の活動の参考になるよう、発表における特定のテーマへの言及を継続する。 ⑥事前説明や依頼の際には、提出だけでなく、発表もしていただけるよう、案内をより徹底する。
⑤交流シートについて、これまでは相手団体の許可を得たうえで連絡先を伝える形で対応していたが、今回は初めてUMECOを通して団体間の交流を図る形で進めた。件数としては1件ではあるが、交流シートをきっかけに団体間での連携が始まっている。	⑦コロナ禍以前は、事業報告会後に団体交流会を開催していたため、今後団体間の交流促進方法について検討する。